

Npo法人つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成30年度)

	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	8月	11日	土曜	9:00	13:00	五味ヶ谷市民の森	8名
活動名称	五味ヶ谷市民の森整備・ボランティア体験会					報告者：吉井	

<主な活動内容>

イベント活動の場合の参加者数(13)人

9:00 スタッフ集集体験会参加者集合

集合時間には、スタッフ5名とボランティア体験会参加者12名が集合した。
竹切体験班(水鉄砲材料作り)と、雑木林草刈り体験班及び、ハンマーナイフによる草刈り班(里山会員)に分かれ、活動開始した。

9:10 作業開始

竹切班は、筑付坂戸高校の生徒6名(女性2名)により、8/18一二三プレーパーク水鉄砲作成用竹材の切り出しをおこなった。 シリンダー用の節の長い真竹を3本切り倒し、軽トラに乗るよう1,9mに切断した。ピストン用は、前回流しそめん用に切り倒した竹の中央から先端部の枝打ちをし、2,9mに切断してピストンを作るよう作った。

雑木林草刈り班は、川越西高校生5名と、富士見中学生(女子)1名が担当し、鎌と仮払い機により、草刈り作業を行った。

ハンマーナイフによる草刈りは、当日作業のメインであり、今期新規購入したハンマーナイフのお披露目でもあった。新品でもあることから、快調に作業が進んだ。なお、このハンマーナイフは、地主さんである瀧嶋さん宅に保管させてもらうことになった。

なお、途中から、会員3名合流

10:30 休憩と作業交代

ガリガリ君ソーダを買ってきて、休憩し、のちに竹班と草班が交代し、作業を開始した。城西大学の学生1名も草班に加わり、作業体験した。
竹班では、2名ノコギリで指を傷つけ珍しく救急箱が役にたった。

11:50 作業終了 お昼タイム

作業を終了し、おにぎりとカットパイナップルで昼食とした。
感想を聞くと、初めての作業が新鮮だった。地元で森の整備団体が活躍することで森が守られていくのが理解できたとの答えがあった。

<里山参加会員> 佐野、小沼、吉井、井上、橋本、松井、石川、風祭

<活動写真>

